アセスメントシート（児童用）のマニュアル

１　身体面

１－１　身体の麻痺等

該当する状況：麻痺や筋力の低下、関節の拘縮、四肢の欠損等

１－２　発作・チック

現在の状況：てんかん発作、チックの有無

特記事項：発作の状況、チックの状態を記載

1－3　歩行不安定

現在の状況：歩行が不安定かどうかを評価し、歩行の不安定の有無を記載する。

特記事項：歩行の状況について記載

1－4　感覚過敏・鈍麻

該当する状況：触覚（人との接触を嫌がる、服を着られない）、視覚（光や色を過剰に感じる、テレビの画面がチカチカする）、聴覚（音が過剰に聞こえる、雑音を排除できない）、嗅覚（においを過剰に感じる、いい香りでも気分が悪くなる）、味覚（特定の味を過剰に感じる、腐った食べ物等を不快に感じない）、痛覚（痛みを過剰に感じる、痛みに対して鈍感、やけどをしやすい）、温覚（熱い、寒い、冷たいの感覚が鈍い、または過剰に感じる）など。

現在の状況：感覚過敏・感覚鈍麻の有無。感覚過敏・鈍麻があったりなかったりする場合は、「ある」を選択する。

２　行動面

2－1　自傷

該当する行為：自ら傷跡が残るほど自分の体を叩いたり、傷つける、頭髪を抜く、手首を切る、多量の薬を服用する等。

特記事項：自傷行為の状況を記載。自傷行為があるが、環境上の工夫等があるため傷ついていない場合も状況を記載。

２－２　他害・器物破損・暴言

該当する行為：他人を叩く、髪の毛を引っ張る、蹴る等、他人を傷つける行為。物を壊す、破く、物や衣類を捨てる等の行動によって日常生活に支障が生じる場合。言葉による暴力（暴言）。

特記事項：特定の相手に対する他害等かどうか、他害等の内容、他害等の起きる状況を記載する。

２－３　多動

該当する行為：落ち着いてじっと座っていられず、走り回る、飛び降りるなどの激しい動きや、そわそわして体が動いてしまうなどの行為。

特記事項：上記の状況が起こる頻度と状況を記載。そわそわして体が動くことは、中学生以上の年齢で多動と判断する。

２－４　無断外出

該当する行為：外出する時には見守り等の支援が必要だが、勝手にひとりで外出してしまう。ひとりで外出しようとするが、環境上の工夫等があるため、外に出ていない場合。

特記事項：これまでに起きた状況、環境上の工夫（カギを複数設置している、本人の開けられない鍵を導入している等）などを記載。

２－５　危険な行動

該当する行為：道路等への飛び出し、（身体能力にそぐわない）高いところからの飛び降り、熱いものを触る、ガスコンロで玩具等を燃やすなど。

特記事項：危険な行動を起こす状況や、起こさないための環境上の工夫等を記載。

２－６　社会的不適切行動

該当する行為：急に他人に抱きつく、他人をのぞきこむ、急に他人に接近するなどの行動。つきまといや性的行為または放火、万引き等の非行行為。

特記事項：社会的不適切行動の内容や状況、起こさないための環境上の工夫等を記載。

２－７　パニック（情緒的行動）

該当する行為：激しく泣く、笑うなどの情緒的な行動。

特記事項：パニックが起こる場合の状況を記載。

２－８　大声・奇声

該当する行為：周囲が驚いたり、他者が迷惑となるような大声や奇声を出す。物を使って周囲に不快な音を立てる場合も含む。

特記事項：大声・奇声の状況を記載。

２－９　便失禁・便こね→便こね等の便に関連する行為

該当する行為：便こね→排便後の大便を素手等で触ることや、トイレ以外の場所での排便の失敗などの大便に関連し本人や介護者等の生活に支障がある行為。

２－１０　睡眠障害

該当する行為：睡眠障害により日常生活に支障が出る場合。夜に寝られない、日中寝てしまう、夜になると活動的になり寝ようとしない、睡眠時間が変動する等。

特記事項：睡眠障害の状況について記載。

２－１１　こだわり

該当する行為：特定の考え、物、人等に対する強いこだわりがあるために、スムーズに行動することができない等、日常生活に支障が生じる場合。

特記事項：こだわりが生じる状況、日常生活への支障の状況などを記載。

３　日常生活

３－１　排泄

現在の状況：排泄に介助が必要かどうかを評価。

特記事項：介助の状況を記載。トイレまでの異動、個室内での介助の必要な状況、複数体制での介助が必要かどうかなどを記載。

３－２　食事

現在の状況：食事の開始から終了までに介助が必要かどうかを評価。

特記事項：介助の状況を記載。食べ物を食べやすくする（小さく切る、とろみをつける等）、箸やスプーン等で口まで運ぶ等。経管栄養（経鼻、胃ろう等）や中心静脈栄養を介助者が行っている等。極端な偏食（○○しか食べない、○○の場所でしか食べない、水分を拒否する）など。

３－３　更衣・身だしなみ

現在の状況：衣服の着脱、選択等に介助が必要かどうか。衣服や髪の毛を整える等に介助が必要かどうか。

特記事項：支援が必要な状況を記載。

３－４　洗顔・歯磨き・清潔

現在の状況：洗顔・歯磨き等の行為を自発的に必要な回数行えているかどうかを評価。

特記事項：支援の状況を記載。

３－５　入浴

現在の状況：入浴に関する行為（着替え等の準備、浴槽に湯を張る、身体や髪・顔を洗う、身体等を拭く等）に支援が必要かどうかを確認する。入浴をすごく嫌がるなど。

特記事項：入浴に関する行為の支援の状況を記載。

４　意思疎通

４－１　意思表示

現在の状況：意思表示を行えるかどうか。

特記事項：意思表示を行う場合、特別な方法（身振り、うなづき、手話等）にて行うかどうか、

４－２　指示理解

現在の状況：言語にかかわらず指示に対する理解ができるかどうか。

特記事項：特別な指示の方法（手話、図式、文字を書く等）にて指示をする必要がある場合、指示理解にむらがある場合など、状況を記載。

相談支援専門員の所見の記載について

※相談支援専門員が見立てる必要性、療育後の見通し

※虐待事案・養育環境の問題については２枚目を添付→行政が廃棄

※親の希望の場合は「保護者の希望により申請」と記入する。

児の状況

□重度包括支援該当　　重度包括支援の該当者。

□人工呼吸器　　　　　人工呼吸器を装着している。

□経管栄養　　　　　　経鼻チューブ、胃ろう、腸ろう等の経管栄養。

□吸引　　　　　　　　吸引機によりたん等の吸引を行っている。

□その他　　　　　　　特別な医療行為を行っている場合。